

## João Hasselberg | Idanha-a-Nova

### について

João Hasselberg | Idanha-a-Nova

ジョアン・ハッセルベルク (João Hasselberg) | イダーニャ・ア・ノヴァ (Idanha-a-Nova)

ジョアン・ハッセルベルクには、セントロ・カルチュラル・ライアーノ (ライアーノ文化センター、Centro Cultural Raiano) にアーティストとして滞在していた際に発見し、探索した地域であるイダーニャ・ア・ノヴァと特別な親近感があります。音楽はいつも彼の人生の傍らにありました。彼の実家で膨大なレコードのコレクションから、彼が世界中で演奏する今日に至るまでです。

「私たちは調子の良い瞬間と調子の悪い瞬間でできています。その時々暮らしが私たちに与えている音を利用するように私たちに絶えず教えてくれます。私の内面には、自分自身を少し残しているだけでなく、そこから少し離れている場所をたくさん持っているのので、私は決して忘れず、私たちが築いた絆や共有したものは決して忘れることはありません。これらは私の交響曲を構成する場所であり、私の一部です。」



イダーニャには、先史時代とローマ時代の遺構が豊かなモンサントの歴史的な村、ペーニャ・ガルシア (Penha Garcia)、花崗岩で建てられた家々がある花の咲く村サンタ・マルガリーダ (Santa Margarida) など、いくつかの象徴的な場所があります。私たちがこの地域にいるときに見逃せないツアーは？

幸運なことに、この街には関心のわかないポイントがありません。紀元前1世紀にローマ人によって設立されたイダーニャ・ア・ヴェリャ (Idanha-a-Velha) の村の建築から、丘のてっぺんに建つテンプラー城 (Castelo Templário) から見えるような、息を呑むような景色を眺めながら通り抜ける小路まで、立ち寄るすべての人におすすめします。そしてもちろん、グラス1杯 (または2杯) のミード (蜜酒) を持ってモンサント城の頂上に登ることを忘れてはいけません。地平線を静かに見つめながら立ってみてください。



©David Cachopo/Go4door

イダーニャ・ア・ノヴァは、自然を楽しむための緑地と小道がたくさんある街です。この地域で見逃せないと思う風景は？

間違いなく、最も美しい空間のいくつかは、ペーニャ・ガルシア（Penha Garcia）のロタ・ドス・フォッセイシュ（化石ルート、Rota dos Fósseis）だと思います。ユネスコ世界ジオパークネットワークの一部であり、4億8000万年以上前のその場所での生活の痕跡が豊富に残っており、魅力的です。しかし、実際には、この地域でのツアーはどれもインパクトのあるものになります。



@jessicareis\_

イダーニャ・ア・ノヴァのグルメには、誰もが無関心ではられません。どれを一番試してみたいですか？

私は子ヤギの肉は好きではありませんが、イダーニャ・ア・ノヴァではオープンでローストした子ヤギの肉は信じられない旨さです。これは、レシピが世代から世代へと受け継がれる料理の1つです。そして、最初の一口で、味からすべてのストーリーを伝えることができるのは驚くべきことです。この地域を訪れる際には、1食をこの珍味に捧げることを強くお勧めします。



©David Cachopo/Gerador

ユネスコの創造都市プログラム（Cidade Criativa da Música da UNESCO）としての自治体の戦略の一環としてライアーノ文化センターにアーティストとして滞在した際、あなたはレコード「ペガサスの大広場」を発表しました。イダーニャからどのようなインスピレーションを受けましたか？

過去10年間、私はイダーニャ・ア・ノヴァで、特に音楽プログラムの創造都市のコンテキストで沢山の曲を演奏してきました。ライアーノ文化センターに滞在する機会が生まれたのは、実は街との接触のおかげでした。この地域のエネルギーは非常に肥沃です。というのも私の場合、創造を後押しするのは沈黙と満たされていない空間であるためです。それはまた、私が育ったアレンテージョを思い起こさせます。街の喧騒や陶酔感のない、音楽に耳を傾けることができる場所にいることで、他のタイプの創造性のための広大なスペースが開かれます。

そして、イダーニャ・ア・ノヴァのような豊かな街で体験したことのなかで、あなたはどのような思い出を持ってきますか？

とりわけ、プロジェクトに関わるすべての人々からの信じられないほどの意欲と愛情。ミュージシャン、ライアーノ文化センターのスタッフ、そして私たちを両手を広げて暖かく歓迎してくれた地元の人々です。私は彼らとともに幸運にも道を渡ることができました。



写真家のジェシカ・レイス (Jéssica Reis) は、ポルトガルの田園地帯、特にイダーニャ・ア・ノヴァを旅するジョアン・ハッセルバーグに同行しました。

「ヴィアゲン・ノ・メウ・インテリア」(「内なる自分を探る旅」)は、Visitportugalとコミュニケーションプラットフォーム「ゲラドール (Gerador)」の構想によるものです。私達は、ポルトガル人アーティストらを招いて、彼らの内なる自分とポルトガルの田園地帯について表現してもらいました。彼らが他の誰よりもよく知っていて、彼らの生活に特別な意味を持っている場所を発見し共有する旅の途上で、私たちは、おそらくあまり知られていない地域を彼らに紹介してもらっています。